

新人トップバッターでの 緊張しました

みゃうち **宮内そうこ** 議員



小学校に通えるといいな

子供たちが安心して



笹目川の流域的な治水対策の考えは

流域治水

重要と考え、積極的に推進するよう要望

Q

けで行うのではなく、隣接するさ議員(笹目川の水害対策は本市だ ことが重要。 推進するよう要望していく。 県などの関係機関に対し積極的に 水対策を進めることは重要である 都市整備部長 いたま市や県と積極的に連携する 流域治水の考えは 流域で連携して治

コロナ情報はスピード感をもって

また、

幼稚園・保育園・小学校の連

児と1年生との交流会を行っている

教育心理専門員を土日も含め常時 は臨床心理士などの資格をもっ ている。さらに、教育センターに 気軽に相談できるよう体制を整え

た

相談しやす

い体制を整え

入学前に幼稚園・保育園などの園

して期待感を持つことができるよう

気持ちを和らげ、

小学校入学に対

教育部長

入学前の園児の不安な

や他学級の教師、

養護教諭などと

ようなことをしているのか伺う。 心して学校生活を送るためにどの

絡会を設け、

小学校入学後の学校生

ている。 配置し、

活において、きめ細かい指導・支援

はなく、 だけではなく、全市民に迅速に届 な数値も伝えてはどうか。 を活用し、 けることが重要。「ぼうさいとだ」 新型コロナの情報はネット 市内の感染状況や具体的 単に呼びかけるだけで

に届けられる手法を検討する 政策秘書室長 必要な情報を迅速

向けた連携を自転車によるまちづくりに

議員

小学校1年生に対して、安

学校で教育相談日を設定し、

保護

れる体制を整えている。

また、

者が学級担任だけでなく、

管理職

小1

プロブレム

幼稚園・保育園・小学校が連携し工夫

部局と連携して取り組んでいく 例の見直しを検討し、 総務部長 正や部局間の連携がこれから必要 づくりを推進するため、 交通など、 において高い利用価値がある。 環境、 多角的な自転車のまち 自転車は、 健康、 観光、 今後、 まちづくり 条例の改 経済 条



を行うことができるよう、 夫している。 議員 子供や保護者の相談体制は に慣れていくことができるように工 一人ひとりが安心して学校生活

保護者が直接、 セラーを週2回に増員し、子供や 校に配置しているスクールカウン 令和元年度から全小学 教育相談を受けら

▲安心して入学を迎えられる環境が求められます



少子化とコロナ禍への民間事業者支援を

事業者と連携して適切に対応していく

全市民・事業者への生活と営業支援を 影響する後谷公園内の灰皿は撤去 がある。戸田駅西口整備では閉鎖 ら閉鎖型喫煙ボックス設置の要望 閉鎖型喫煙ボックスの設置を 受動喫煙を望まない方々か また、 子供達に 備した。 供の数は減少していく。 市は保育園・学童保育を急速に整 打撃を与えている。経営状況の認 で急激に減少した出生数が経営に 新型コロナウイルス感染症の影響

しかし、

中長期的には子

加えて

こども青少年部長

公立保育園で

者と共に検討してほし

さまざまな手段を早い段階で事業

動向を見てからでは遅

の調整など、対応を検討する。

待機児童解消を目指し、本

態に沿った全市民・全事業者への

小事業者の営業実態を把握し、 により疲弊する市民生活や市内中

長引く新型コロナ感染拡大

コロナ

本市の現状にあった支援を迅速に行う

Q

市独自の支援を行うべき。

市内事業者の現状

型を検討しては。

を正確に把握し、

本市の現状に

た適切な支援を迅速に行う。

すべき。

市民の命となりわいを守る

市長は早急に決断すべき。

配慮し、 今後は更新しない。 備を考えている。 は駅利用者の動線や近隣建物に 環境経済部長 パーティション型で 戸田駅の喫煙所 公園内灰皿 0 は 整 る。 こども青少年部長 定員を下回る保育園では運営費の を減額せず、通常通り支給して 園措置となった場合でも、運営費 識と対応について伺う。 しかしながら、入所希望者が

コロナ禍で休

接種を検討すべきではないか。

しやすい施設で働く保育士の優先

となる段階で、クラスター

・の発生

ワクチン接種の対象が一般

11

の職種を優先する予定は現時点で

福祉部長

一般接種の段階で特定

はない



啓発パンフレットの配布、

コミュ

広報戸田市での特集

ションボ

・ドのホ

ージ掲載など、楽しくコミュニ ーションできるよう取り組む。

される。

今後の取り組みと、

日常

楽しく覚えられる手話の普及を

4月に手話言語条例が施行

的に楽しく学べる工夫を。

手話「こんにちは」

談もあり、事業者と情報を共有

に、どう工夫すべきかといった相 で職員の配置体制を確保するため 収入見込みが減り、

限られた収入



市民生活や営業への支援

は待ったなし

^{はない} のぶこ **花井伸子** 議員





個々の施設の状況に応じた課題へ

の対応を検討する。

今後の入所申請の動向を見ながら



▲市内での保育の様子